

歴史の息づかいが聞こえる、洛中唯一の酒蔵



佐々木酒造株式会社

知恵の使いどころ

- ・ 研究室がない点を京都市の工業試験場との協力関係で補う。さらに、試験場が開発した「京の琴」など、香りの良い新しい酵母を思い切って使用し、製品化する。
- ・ 伝統の技を守りながら、時代の志向に併せた新たな味を開発する。
- ・ 京都市観光協会やJR東海との提携などにより新たな市場開拓に果敢に取り組む。



強み

- ・ 名水が湧き出る洛中唯一の酒蔵
- ・ 機械化の中にあっても、酒造りの工程の記録や、若い杜氏の常雇用などにより継承している伝統の技
- ・ 社長が酒蔵の経営者であるとともに、大阪府立大学で発酵研究室を卒業した研究者でもあることから得た、杜氏との信頼関係や研究会等での大企業の技師等との交流により得た品質の良いお酒を造る新たな技術



プロフィール

明治26年、京都上京の地に創業。関白秀吉の邸宅・聚楽第跡の「出水」という地名が残る、良質の地下水に恵まれた当地において、千利休が茶の湯に使ったといわれる「金明水・銀明水」を仕込み水とし、全ての酒を京都・洛中伝承の手造りの技法で醸し続けている。現社長は大学卒業後すぐに会社を継ぎ、小売店を大事にする経営で販売を伸ばす。

実績・成果

厳しい特定名称酒の市場においても、特に品質の良いお酒として、京都のみならず首都圏でもファンを増やしている。

- ・ 平成15・16年 酒類総合研究所 全国新酒鑑評会 金賞
- ・ 平成19年 インターナショナルワインチャレンジBronze



京都・知恵ビジネス・ワークショップ